

モモタマナ

か めい
科名 シクンシ

べつ めい
別名 コバテイシ

がく めい
学名 Terminalia catappa



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶ
分 布 おがさわら、おきなわ、ちゅうごくなんぶ、たいわんとう
小笠原、沖縄、中国南部、台湾等

は かたち
葉 の 形 さかさらんけい
卵形

は ふち
葉 の 縁 ぜんえん
全縁

は さき
葉 の 先 えんけい
円形

は しゅるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた そくせい
葉 の 付方 束生

は き ぶ みみがた
葉 の 基部 やや耳形

み しゅるい かくか
実 の 種類 核果

は な がくいろ しろいろ
花・萼色 白色

せつ
説
めい
明

公園や街路樹などに植えられている高さ 15m 以上にもなる半落葉性の高木で、幹の太さは直径 1m 程度にもなります。葉は革質で光沢があり、さかさ卵形で長さ 20-25 cm と大きく枝の先に密生してつきます。葉先は円形、葉の基部は耳状です。花は穂状花序で白く小さな花をつけます。実は核果で皮は繊維質、長さ 3-6 cm です。